

## えりも町の潮間帯で採集したウミカニムシの記録

榎本尊<sup>1)</sup>

## キーワード

ウミカニムシ、スプレーイング、潮間帯

## はじめに

ウミカニムシは体長 5.0 mmほどの円筒形のカニムシである(西村 1995)。紡角が約 9 本の著しい棘を持つことで容易に他種と区別できる(澤田 1995、図 1 C)。本種は北海道、利尻島、東北北部での生息が確認されている。潮間帯に生息しており、満潮時には水没するような石下から見つかる(森川 1965、佐藤 2021)。体は体毛に覆われており、毛の間に空気を確保している可能性が示唆されている(図 1 D)。北海道利尻島では高潮線上の打ち上がった海草下から、厚岸郡厚岸海岸では潮汐線の磯下から、野付湾干潟では後背植生帯から発見されている(Morikawa 1958、森川 1965、澤田 1995、向井 2007)。

青森県 RDB (2020) では希少野生動物 C ランクに割り振られており、「生息地及び個体数ともに局地的で大変少ない」と記録されている。厚岸では 2007 年の報告書では生息が確認されていない(向井 2007)。

## 採集記録

本調査では海岸の波打ち際の岩の割れ目に殺虫スプレー(アースジェット;アース製薬株式会社製)を吹きかけ、下部にプラスチック容器を設置し、落下した節足動物を採集した(スプレーイング法)。当初は、イワハマムシやセスジダルマガムシなどの海浜性甲虫の採集を目的としていた。えりも町の望洋台から海岸へと下り、「波の常にかからない陸地の岩場」、「満潮時に一部が浸る岩場」、「満潮時には完全に沈む波打ち際の岩場」の

3つの環境で、2地点ずつ計6地点でスプレーイングを行った(図 1 A・B)。採集を行ったのは 16 時 20 分~16 時 50 分であり、干潮(14 時 53 分)から 2 時間以内の水位の低い時間に行った(干潮時 53.6 cm、満潮時 117.6 cm、17 時 64.2 cm:えりもにおける潮見表のデータ参照)。

## —採集データ—

- 2023 年 6 月 26 日 えりも町庶野 望洋台  
ウミカニムシ 2 頭、セスジダルマガムシの一種 5 頭、イワハマムシ 1 頭(図 1 E)

## 考察

本調査では、満潮時には海に沈む波打ち際の岩の割れ目から 2 頭のウミカニムシが採集された。道内での分布も局地的かつ個体数も少ないため、本種の生息を確認できたのは幸いである。本報告は、日高地域におけるウミカニムシの初記録である。道内の海岸部では砂浜や岩場にイソカニムシが生息しているが、ウミカニムシの生息環境は、より海に近い潮間帯であった。現在までに他地点(えりも町:目黒漁港 様似町:日高耶馬溪、様似漁港、エンルム海岸)からは本種は得られていない。日高地域におけるウミカニムシの生息状況には今後も注目していきたい。

ウミカニムシなどのカニムシ類が全国的に減少しており、要因として周辺環境の十分な保全がされていないことが指摘されている(向井 2007)。人知れず生きている本種のような海浜性の節足動物を保全するためにも、海岸部での過度な開発は慎むべきである。本調査で行ったスプレーイングは倒木や立ち枯れや岩穴等に吹きかけて、微小な昆虫類を採集するのに用いられる方法である。目視によるルッキングや砂場でのシフティング

1) 様似郷土館

よりも種によっては採集効率がいい。しかし、生息環境への薬剤の影響等も考えると過度な使用は避けるべきである。

#### 謝辞

本稿作成において、関連資料の提供や本種に関する助言をして頂いた北海道大学昆虫研究会の宇波武尊氏に感謝する。

#### 引用文献

青森県 (2020)「青森県の希少な野生動物—青森県レッドデータブック (2020年版)—」365p  
澤田高平 (1995)「原色検索日本海岸動物図鑑2 (西村三郎編著)」10p

Morikawa Kuniyasu (1958)「Maritime Pseudoscorpions from Japan」Mem. Ehime Univ., Sect. II. Ser B. 3(1): 5-11.

向井宏 (2007)「第7回自然環境保全基礎調査 浅海域生態系調査 (干潟調査) 業務報告書」環境省自然環境局 生物多様性センター: 23p

森川国康 (1965)「うみかにむし」新日本動物図鑑 (中) 北隆館 344p

佐藤英文 (2011)「北海道の山地における土壌性カニムシ類の垂直分布」鶴見大学紀要 第48号 第4部 15-21

佐藤英文 (2021)「カニムシ 森・海岸・本棚にひそむ未知の虫」築地書館 94p

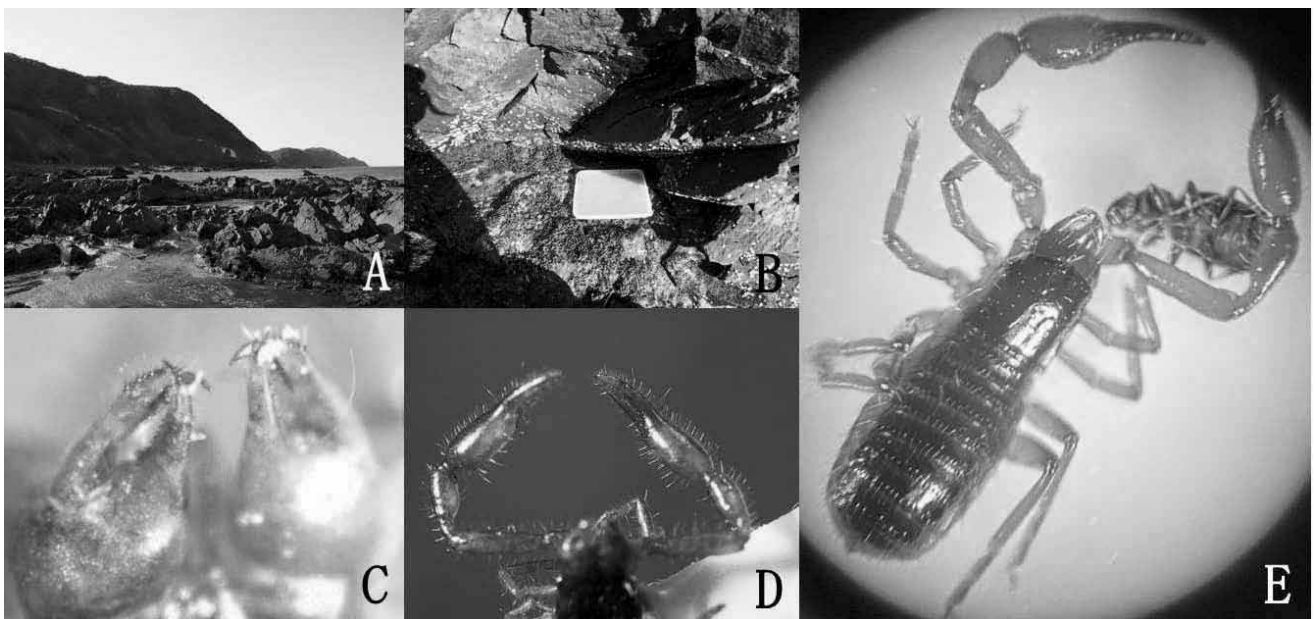


図1. A: えりも町庶野の望洋台 (調査地)。B: スプレーイングによる採集風景。C: 鋏角、紡績腺。紡角が10本のトゲをもつ。D: 体毛に覆われたウミカニムシの触肢。E: ウミカニムシとセスジダルマガムシの一種。